

さいがいたいおう 災害対応 マニュアル

<地震編>

- とうきょうしやうがくしょうがっこう 関西創価小学校
☎042-345-2611 ☎072-834-0611
- そうかちゆうがっこう 関西創価中学校高校
☎042-341-2611 ☎072-891-0011
- そうかこうがっこう 札幌創価幼稚園
☎042-342-2611 ☎011-853-3725

URL www.soka.ed.jp/
URL www.soka.ed.jp/m/



創価学園

日本セイフティー株式会社 災害研究所 監修

改訂版 2018.9.1

防災の心得 ぼうさいのこころえ

- ケガのないよう身を守る
- 慌てない・騒がない
- 周りを良く見て自分で判断
- これで安心だと思わない
- 家族や学園に無事を知らせる

通学路を親観しよう つうがくろをかんざっしよう

避難経路の確認をしよう。
細い道、大きい道、電柱や看板が倒れそうな危ない道など、通学途中で避難できる場所も探しておこう。



防災グッズを身につけよう ぼうさいグッズをみにつけよう

- 例えば・・・
- 防犯ベル
 - キーホルダー型のライト
 - 助けを呼ぶ笛など。



日頃の備え ひごろのそなえ

- 家族との連絡方法・集合場所を決めておく。
- 連絡先:
集合場所:
- 避難経路を決めておく。
- 避難グッズをそろえておく。
- 家の周りの危険な場所を確認しておく。

- 避難経路と避難場所を確認しておく。
- 友達と災害時の行動を話しておく。
- 学園の中で安全な場所を知っておく。
- 上級生、下級生ともよく知り合っておく。

私のメモわたしのメモ

10秒で何ができる 10びようでなにができる

緊急地震速報が出てからできる事 (無理にやろうとしないこと)。

- 戸を開ける。
 - 机の下にもぐる。
 - お互いに声を掛け合う。
 - 落ち着いて深呼吸をする。
 - 窓や棚・黒板・ロッカー、倒れそうな物、落ちそうな物等から離れる。
 - カーテンを閉めて窓ガラスの飛び散りを防ぐ。
- ※学園では先生の指示に従って冷静に行動しましょう。
※緊急地震速報後、10秒以内に地震が来る事もあります。



自覚しておこう おぼえておこう

- 毎月一日に災害用伝言ダイヤルを試す事ができます。使い方に慣れておきましょう。
- 救助を待っている時には安全な場所で動かないようにしましょう。
- 都市ガスは震度5以上で自動的に止まります。揺れが止まってからガスの元栓をしめましょう。
- 地震と洪水では避難場所が変わる場合があります。
- 火災・救急・救助は☎119 海難事故は☎118

応急手当 おうきゆうてあて

血が出ている時 ちがでるとき

- ガーゼ・ハンカチ等で直接傷口を押さえ、血を止める。
- ※感染予防のため、できる限りビニール手袋等を使う。



AED エーディー

- 肩をたたいて意識の確認をし、助けを呼ぶ。
- AEDを音声案内に沿って使う。



消火器 しょうかき

- 安全ピンを上向きに引き抜く。
- ホースをはずして火元に向ける。
- レバーを強く握る。



災害用伝言ダイヤル



録音方法 ろくおんほうほう

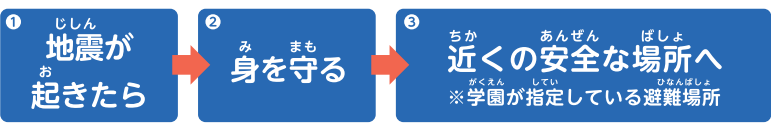
- 電話から「171」にダイヤル。
- 「1」（録音）をダイヤル。
- 自宅の電話番号をダイヤル（市外局番から）。
- アナウンスに従い、1回30秒以内で録音。

【例文】(れいぶん)
花子は無事です。ケガもありません。○○学園に避難しています。弟の太郎も一緒にです。

再生方法 さいせいほうほう

- 電話から「171」にダイヤル。
- 「2」（再生）をダイヤル。
- 自宅の電話番号をダイヤル（市外局番から）。
- すべての伝言が、つけて再生されます。
- 伝言を聞いたら、必ず伝言を残す。

地震にあったら(学園の中/学園の近く)



学園にいる時 がくえんにいるとき

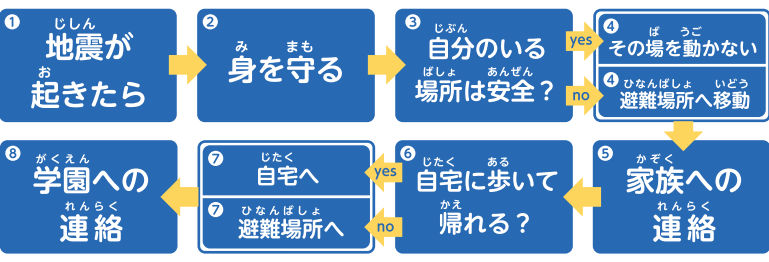
- 地震が起きたら
- 慌てて表に飛び出さない。
 - 窓やロッカーから離れる。
 - 机の下にもぐる。
 - カバン等で頭を守る。
 - 体育館、グラウンドでは中央に集まってしゃがむ。
- 揺れがおちついたら
- 先生の指示に従う。
 - 友達がいけない時は先生に伝える。
 - できるだけ集団で行動する。
 - 停電の時は、誘導灯を目印にする。



通学・下校途中の時 つうがく・げいこうのとき

- 地震が起きたら
- 乗り物では手すりやつり革にしっかりつかまる。
 - 乗り物で座っている時は身を屈め、頭を守る。
 - カバン等で頭を守る。
 - 狭い路地、塙のそばから離れる。
 - 電柱や自動販売機、看板から離れる。
- 揺れがおちついたら
- 乗り物では、運転手や車掌の指示に従う。
 - 学園に近い時は、友達や先生と合流する。
 - 自宅が近い時は、家に帰る、家族と合流する。
 - 近くの避難場所に移動する。
 - できるだけ集団で行動する。

地震にあったら(学園から離れた場所)



家にいる時 いえにいるとき

- 地震が起きたら
- 慌てて表に飛び出さない。※回りをよく見て行動しよう
 - すぐに頭を守る姿勢をとる。
 - 揺れている時は、火に近づかない。
- 揺れがおちついたら
- 歩いて逃げる (エレベーターは使わない)。
 - 避難は歩いて、荷物も少なく。



外にいる時 そとにいるとき

- 地震が起きたら
- 狭い路地、塙のそばから離れる。
 - 電柱や、自動販売機、看板から離れる。
 - 崖や川の近くから離れる。
- 揺れがおちついたら
- デパート等の建物では係員の指示に従う。
 - 歩いて逃げる (エレベーターは使わない)。
 - 停電の時は、誘導灯を目印にする。

